

「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果から

この調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象に、学力及び学校生活や家庭生活の様子を把握し、今後の学習や生活の改善に必要な取り組みを検証していくために実施されているものです。今年度は国語・算数(数学)が実施されました。

木曽岬町では、小学校算数で全国の平均正答率を上回りましたが、他教科については下回る結果となりました。国語では、目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討したり、人物像や物語の全体像を具体的に想像し表現の効果を考えたりすること等に課題が見られました。算数(数学)では、データと活用の領域においてグラフから必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて記述したり、関数の領域においてグラフの交点や傾きの意味を解釈すること等に課題が見られました。今回の結果を踏まえ、見えてきた課題について指導改善を進めていきます。

		国語	算数・数学
小学校 6年生	木曽岬町	△	○
	三重県	67.1	62.3
	全国(公立)	67.7	63.4
中学校 3年生	木曽岬町	△	△
	三重県	57.0	52.7
	全国(公立)	58.1	52.5

○:全国平均を上回ったもの △:全国平均を下回ったもの

児童生徒質問紙調査では、小学校6年生において「自分にはよいところがあると思う」という質問に、また、中学校3年生においては「将来の夢や目標を持っている」という質問に肯定的に回答した児童生徒の割合が高い結果となりました。「夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン」の取り組みが成果になって表れてきていると考えられます。

◎今後の取り組みについて

① 継続的な授業改善の推進

・主体的・対話的で深い学びを実践し、児童生徒が主役となれるよう、授業改善に取り組めます。

② タブレット端末を有効活用した授業づくりの推進

・デジタルドリルなどを活用しながら、子どもたちの学習の定着を図っていきます。
・子どもたちが自分の考えをまとめ、班や学級で交流し深め合うために、授業の中でタブレット端末を意図的に活用していきます。

③ 「夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン」の推進

・学校と家庭・地域がともに児童生徒のがんばりを認め、応援していく機運を高める取組を継続していきます。